

10月16日(日) 福山働くもののセミナーにご参加を!

テーマ **アベノミクスを検証する** ——アベノミクスで労働者の 生活は本当によくなるのか?

- 日時 10月16日(日)午後 1時から
- 会場 福山市市民参画センター (TEL084-923-9005/福山駅6分)
2階 セミナールーム
- 参加費 100円
- 主催 労働者の問題を考える会

アベノミクスはこれまでに、大規模な金融緩和を行うことで2%ほどのインフレを実現して経済の好転を目指す(第一の矢)、積極的な財政政策により需要を下支えする(第二の矢)、さらには成長戦略(第三の矢)により日本経済を長期的なデフレから脱却させて経済の回復を目指すと言われてきました。アベノミクスが、日本経済を長期的な停滞から回復させて成長軌道に乗せる、と導入されて早3年半が過ぎました。しかし、労働者の実質賃金はほとんど改善されず、非正規雇用は増大し続けています。今では何と労働者全体の4割にも達しています。こうした現状に対して、安倍首相や黒田日銀総裁は、アベノミクスはまだ道半ばであるからだと言いつつアベノミクスのエンジンをさらに吹かすと言います。

この間、日銀は国債を買い続け、今では全体の3分の1超を日銀が保有してその額は364兆円にもものぼっています。これからもさらに国債を買い続けると言います。また日本の国家の債務総額は1000兆円を超えています。さらに財政を膨張させると言います。しかし、こうした経済政策を続けることは果たして猛烈なインフレをもたらし、また国家財政の破綻により経済的な危機・解体状況を招き寄せることにならないでしょうか? また成長戦略も、その中身が解雇や残業時間の規制緩和ということであるなら、果たして労働者にとってどれほどの利益があるのでしょうか?

セミナーでは、アベノミクスについて徹底検証し、それが労働者・働く者の生活を本当に良くするものなのか? 労働者・働く者に何をもたらすものなのか? を共に考えていきたいと思えます。ぜひ、ご参加ください。

- 連絡先 労働者の問題を考える会



労働者の問題や社会の様々な問題を学びあっています。

・TEL : 090-9993-9744 (伊藤)

・労働者の問題を考える会はまちづくりサポートセンターの登録団体です。